

マインド・コントロールとは？

西田 公昭

Kimiaki Nishida, Ph.D.

立正大学心理学部

nishidak@ris.ac.jp



“マインド・コントロール”という概念

- 心理操作 (Psychological Manipulation) という言葉の方が適格であり、国際学会ではこちらが使われることが多い。
- あこぎなまでにこの手法を駆使して極端に強い心理的な拘束を与え、依存、搾取、虐待、殺人といった重大な結果を引き起こす現象をひとことで言い表したいためにつくられた。
- 「洗脳」と呼ばれる拷問的手法とは異なり、物理的な強制を用いない代わりに、欺瞞的なコミュニケーションを用いる。
- 新たな意思決定装置 (ビリーフ・システム) に誘導して、元には戻らせないように駆動させ続ける。



マインド・コントロールの基本的戦略

いう通り
すればう
まくいく!

自分
の
来
た
フ

操作者提
供のビリー
フ・システム

五感から
入る情報

- ・特定の情報を目立たせる
- ・ストレス亢進やエネルギー消耗

- ・不安や恐怖を煽って混乱させる
- ・ストレス亢進やエネルギー消耗
- ・新システムを役立たせる



マインド・コントロールによって入れ替えられるビリーフ群

理想

最終的に望む自分、家族、社会、世界とはどんな？

自己

現実の自分はダメ人間だが、変われる可能性がある

目標

一つずつ目標をクリアーすれば、理想は実現する

因果

自分や社会が変わるための自然や社会の法則とは

権威

真に善なることと悪なることを見極めるカリスマ的存在

マルチ商法に与えられる新しいビリーフ・システム

理想

ビジネスで成功する、高い評価を受ける

自己

今は、儲かっていないが、きっとやりきれる

目標

今の勧誘目標を実現すれば、一段と儲かる段階へ

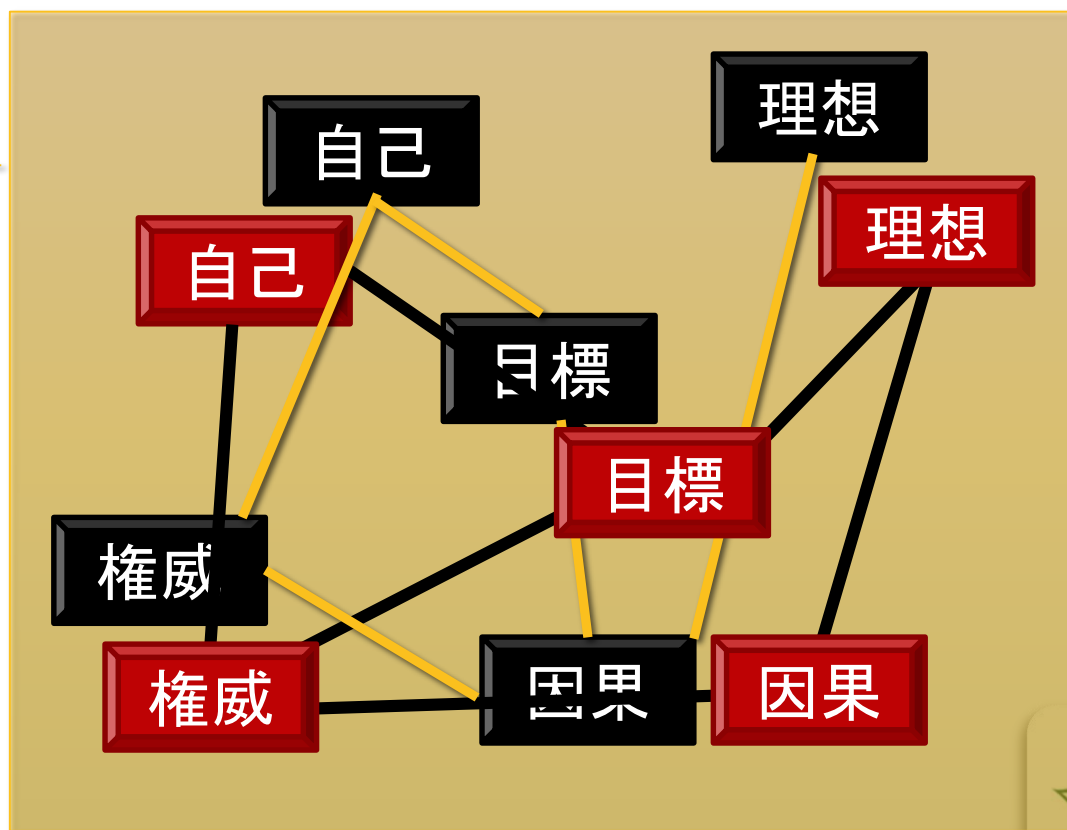
因果

この仕組みは、理にかなった儲かる商法だ

権威

仲間やリーダーは正しいし、批判する人は無知だ

意思決定の装置(ブリーフ・システム)を入れ替えるとマインドコントロールは完成する！



1 温かな人間関係を築き、対話の基盤を作る

[情報の隠ぺいと欺瞞・断りにくい状況の操作]

2 解決困難な問題を突きつけて混乱させる

[欲求の扇動と恐怖喚起]

6 経済的・社会的資源を放棄させて元の生活に戻れなくさせる

[MCの完成]

3 一見鮮やかな解決策を見せて魅了する

[思想の超越性]

5 思想を日常的に実践させて納得させる

[情報・行動・思考・感情のコントロール]

4 思想を体系的に確信させる

[リアリティの操作]

マルチ商法のマインド・コントロール過程

1. **対話の基盤づくり**: 幼馴染みや同じサークルなどの信頼している友人からの勧誘(返報性と好意性)
2. **未解決な問題**: 憧れるような成功者が現れ、自分の見果てぬ夢を煽られ、今こそ変われば、実現する気にさせる(希少性と自尊心高揚)。
3. **鮮やかな解決**: セミナーの役立ち感やマルチ商法の仕組みが説明されて、理想的な自分の現実化を説かれた(情報コントロール)。
4. **思想を体系的に確信させる**: 成功者の事例、多くの人に参加しようとしているのを見て安心を得る(社会的現実性)。
5. **日常的な実践**: 実際に金品を与えられたりして、成功する兆しを見せられ現実感を抱き(個人的現実性)、続けて努力することを日常化させられる(コミットメント効果)。
6. **後戻りできない環境**: 大金を投資し、本来の大学生活を捨てて、のめりこんだため、犠牲を取り返せず、自己正当化する(認知的不協和)。



マインド・コントロールの仕組み

